

地域に根付いた活動展開

平田建設など3社 ユースエール

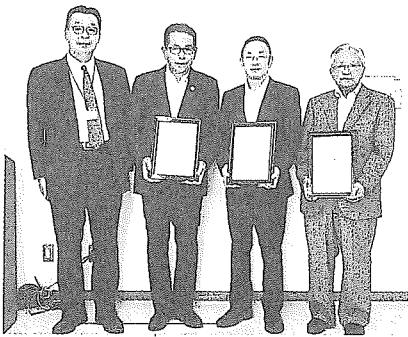
【帶広発】(株)平田建設(土和工研㈱)社長、長谷川雅毅(社長)と東河西健(常広、田中雅人社長)、栗林建設(㈱)常広、河西健(社長)は9日、帯広公共職業安定所からヨーネエール認定通知書を受け取った。時田真也所長が3社に通知書を授与。時田所長は、「長年にわたる地域に根付いた企業活動など3社の日頃からの真摯な取組をたたえた。

ユースエール認定制度は、若者の採用・育成に積極的で、雇用管理に優れた中小企業を厚生労働大臣が認定するもの。3社では人材育成制度や職場への定着促進に関する取組などが評価され、平田建設と東和工業が6月2日に認定が6月6日にユースエール認定企業となつた。

長、栗林建設の須磨富美夫常務らが帶広公共職業安定所を訪問。時田所長から認定通知書を受け取った。

がこれから企業の発展<sup>はつてん</sup>が重要<sup>じゅうおう</sup>となっている中で、長年にわたる地域<sup>ちいき</sup>に根付いた企業活動など3社の日頃から真摯<sup>まし</sup>な取組<sup>とりくみ</sup>をたたか

組んでいた人に触れ、「認定を受けた」や自分の身を引き締めて時間管理を徹底していきたい」と話した。



長谷川社長は、工業高校のみならず普通高校などに建設業を知つてもらうため、勉強会や現場見学会に取り組みます。

組んでいたことに触れ、「認定を契機に、さらに身を引き締めて時間管理を徹底していきたい」と話した。田中社長は働き方改革に当たって管理職の意識を変える重要性を強調。「この認定を『スタート』として、若い人たちと力を合わせて会社を発展させたい」と話した。須磨常務は同社が創業から100年を経過していることから「つぎの100年に向けて若い社員の採用と定着のため」「引き続き努力したい」と話した。

# 平田建設など3社に 蒂広公共職業安ユースエール認定通知

A black and white photograph showing three men from the waist up, all wearing dark suits and white shirts. They are each holding a large, rectangular framed certificate or award. The man on the left has his hands visible at the bottom of the frame, while the other two have their hands partially hidden behind the frames. The background is plain and light-colored.

時田眞也所長は「人手  
相が認定する。  
不足が深刻化する中、企  
業の持続にはワークライ  
フバランスや適切な労務  
管理が必要だ」と強調し  
た。

三

## 平田建設など3社に

# 平田建設など3社に 【帯広】 帯広公共 都市 ユースエール認定通知



3社に認定書を手渡した

（舞込） 帯広公共職業安定所は9日、平田建設（本社・土幌）、東和工研（同・帯広）、栗林建設（同・帯広）にユースエーツール認定通知書を渡した。十勝管内の認定企業は12社となつた。

優良中小企業を厚生労働省

相が認定する。  
寺田真也所長は「人手不足が深刻化する中、企業の持続にはワークライフルランスや適切な労務管理が必要だ」と強調した。